

## 第1回：戦後の健康づくり対策と地域歯科保健の変遷

＜本日の到達目標＞ ①戦後の健康づくり対策の流れを知る。

② 地域歯科保健の変遷と8020運動の流れを知る。

## 1. 健康づくり対策の流れ（図III-1-10 参照）保・生 p 239～

昭和 20 (1945) 年～40年

・急性伝染病対策 ・結核対策 ・母子保健対策 ・公害対策

「成人病」

\*石油危機（オイルショック 1次 1973年、2次 1979年）

⇒経済の低成長・人口の高齢化

## 昭和 53 (1978) 年～第1次国民健康づくり対策

健康診査の充実、市町村保健センターの整備、

保健師や栄養士等マンパワーの確保

ライフスタイル改善運動の3本柱

## 昭和 63 (1988) 年～第2次国民健康づくり対策～アクティブ80ヘルスプラン

( ) の普及に重点を置いた対策（運動方針の策定、健康増進施設の推進等）

・1996年～「成人病」⇒「( )」

( )、( )、( )、( )、( )

などの生活習慣が、その発症・進行に関与する疾患群を表すものとして( )

が導入した概念である。

## 平成 12 (2000) 年～第3次国民健康づくり対策～21世紀における国民健康づくり運動（健康日本 21）

平成 15 年：( ) の施行（健康日本 21 の法的根拠）

平成 18 年：医療制度改革関連法の成立

平成 20 年：( )

厚生労働省は、医療制度改革とも合わせ「( )」の概念を取り上げ、内臓脂肪の減少に主眼をしづけた生活習慣病対策を推進している。

## 平成 25 (2013) 年～第4次国民健康づくり対策～健康日本 21 (第2次)～

健康寿命の延伸と健康格差の縮小が盛り込まれた「健康日本 21 (第2次)」が策定された。

\*メタボリックシンドローム

2. 地域歯科保健の変遷と 8020 運動 表III - 1 - 9 主な地域歯科保健関係施策の推移

1928 年	「虫歯予防デー6月4日」を定める
1947 年	保健所法改正
1948 年	
1952 年	第1回母と子のよい歯のコンクール（以後毎年）
1957 年	第1回歯科疾患実態調査（ ）
1958 年	「歯の衛生週間6月4日～6月10日」始まる
1961 年	（ ）歯科健康診査開始
1963 年	母子歯科保健指導要領
1974 年	歯科保健問題懇談会報告書提出
1977 年	（ ）歯科健康診査開始
1987 年	老人保健事業で歯の重点健康教育、歯の重点健康診断の開始
1988 年	在宅寝たきり老人歯科保健推進モデル事業開始
1989 年平成元年	歯科衛生士法一部改正（歯科衛生士業務 + ） 成人歯科保健対策検討会中間報告書（ ）
1990 年	保健所における歯科保健業務指針作成
1991 年	成人歯科保健対策推進事業開始 歯の衛生週間の重点目標が「8020運動の推進」となる
1992 年	8020運動推進対策事業開始 寝たきり老人等に対する訪問口腔衛生指導開始
1993 年	8020運動推進支援事業開始 在宅心身障害（児）者歯科保健推進事業開始
1994 年	保健所法全面改正（ ）
1995 年	老人保健事業における総合健康診査の項目に歯周疾患検診導入
1997 年	都道府県及び市町村における歯科保健業務指針 歯科保健推進事業開始
2000 年	8020運動推進特別事業開始 老人保健事業における歯周疾患検診を独立した検診として実施
2002 年	フッ化物洗口ガイドライン策定
2003 年	健康推進事業実施者歯科保健支援モデル事業開始
2008 年	歯周疾患検診は、（ ）に基づく市町村任意事業となる
2009 年	歯科保健と食育の在り方に関する検討会報告（嚙ミング30の提唱）
2010 年	在宅医療連携室整備事業開始
2011 年	（ ）に関する法律施行
2012 年	歯科口腔保健の推進に関する基本的事項（大臣告示） 「歯の衛生週間」から（ ）に名称変更
2013 年	口腔保健推進事業の開始
2014 年	歯科衛生士法一部改正（予防処置実施の際、歯科医師の指導の下に行うこととし、「直接の」指導までは要しない）